

大学並びに校友会本部の現状

東洋大学校友会 副会長 安本 賢治

1 東日本大震災 (平成23年3月11日)

○宮城、岩手、福島三県の被災状況 (H23.6.1現在)

- ・死者 15,246名 行方不明者 8,400名
- ・三県の現役学生数 287名
- ・三県の校友数(卒業生) 1,841名

☆校友会第一次義援金

- ・現役学生に2,000万円、卒業生に1,500万円

☆全国校友会員からの義援金 7月31日まで

- ・5月18日現在 689件、312万円集まっている

2 大学の現状

○2012年(平成24年)東洋大学創立125周年

- ・井上円了博士29歳で哲学館創立(明治20年)
- ・東洋大学創立125周年記念式典(平成24年11月23日予定)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・平成25年 姫路高校創立50周年・平成26年 牛久高校創立50周年 |
|---|

- ・大学創立125周年記念事業

☆東洋大学5つの改革

- (1) 板倉キャンパスで行っていた国際地域学部を白山第2キャンパスに移転
- (2) 板倉キャンパスの生命科学部に既存の生命科学科に加えて、応用生物科学科と食環境科学科の2学科を新設
- (3) 工学部を理工学部にも再編
- (4) 総合情報学部を新設
- (5) ライフデザイン学部生活支援学科を「生活支援学専攻」と「こども支援学専攻」の2専攻体制とした

☆施設面の充実

- ・白山キャンパスの開発
 - ・学校法人京北学園との合併 (H.23.1.17)
 - ・現京北学園跡地に東洋大学創立125周年記念館の建設 (H.24.11 完成予定)
(3号館の事務局、5号館の大学院、法科大学院等が記念館に移転する)
 - ・国際地域学研究科、国際地域学部が移転してくる
- ・白山第二キャンパスの開発
 - ・京北学園の校舎建設 (H.27.3 完成予定)
 - ・京北学園が移転してくる (H.27.4)
- ・赤羽台キャンパスの開発
 - ・京北高校・京北学園白山高校・京北中学校が仮移転 (H.23.4.1)
 - ・京北幼稚園は、附属小学校新設まで、現本駒込にとどまる
 - ・京北学園の移転後は、総合情報学部の校舎建設 (H.27.4 開始)
 - ・総合情報学部が移転してくる (H.29.4)
- ・板橋区清水町キャンパスの開発
 - ・東洋大学総合スポーツセンターの開設 (H.23.4)
<体育講義・体育実技に使用するほか、各強化部の道場、競技施設、グラウンド、50m室内プール、300人収容の体育寮 ほか>
- ・河口湖畔にセミナーハウス開設 (H.22.8.1)
- ・熱海市に教職員の研修センター開設 (H.23.3.1)

・大学創立125周年記念事業寄付金の目標額

事業費の見込額	300億円
寄付金の目標額	30億円
卒業生寄付金目標額	5億円
募集期間	平成20年4月1日～平成25年3月31日
募集の対象	法人・団体・個人
募集の方法	法人・団体 お申し込み金額は特に定めておりません 個人 一口1万円以上 ※1万円未満のご寄付もあり がたくお受け致します
☆校友会	2千万円×5年間の積み立て＝1億円を計画
☆校友会員の目標額	会員数×2万円（現在約4千万円）

- 第87回 箱根駅伝 平成23年1月2日・3日
 往路新 優勝(V3) 5時間29分50秒
 総合 準優勝 11時間 0分12秒(優勝早大との差21秒)
 ・監督 酒井俊幸 コーチ 佐藤
 ・区間賞 ・柏原竜二(3年) 5区 ・千葉 優(4年) 8区
 ・田中貴章(3年) 9区 ・山本憲二(3年) 10区
- 第22回 出雲駅伝 4位(10/11)、 第42回 全日本大学駅伝 3位(11/7)
- 東都大学野球 春季リーグ5連覇 (5/25) <2季ぶり16度目の優勝>

・部長 穂山幹夫 ・監督 高橋 昭雄 ・コーチ 福富

☆春季リーグ表彰選手

- ・藤岡貴裕(4年) 最高殊勲選手、最優秀投手
 ・戸田大貴(3年) 首位打者(3割5分9厘)

<ベストナイン>

- ・投手 藤岡貴裕(4年) ・1塁手 戸田大貴(3年)
 ・遊撃手 鈴木大地(4年) ・外野手 小田裕也(4年)

○全日本 大学野球 選手権大会 出場 H.23.6.13～ 於、東京ドーム、神宮球場

☆現在注目されている現役プロ野球OB

- ・桧山進次郎 H3 法卒 阪神 ・永井 怜 H18 法卒 東北楽天
 ・田中 大輔 H18 営卒 中日 ・大場 翔太 H19 営卒 福岡
 ・上野 大樹 H20 営卒 千葉 ・大野 奨太 H20 営卒 北海道日本ハム
 ・乾 真大 H22 法卒 北海道日本ハム ・その他

☆活躍している大相撲力士

- ・幕内力士 木村山(東前頭) 春場所 7勝 8敗
 ・十両力士 玉乃島(西筆頭) 春場所 4勝 11敗
 磋牙司(東12) 春場所 13勝 2敗
 華王錦(来場所十両昇進予定)

○学生数、並びに 志願者状況

- ・学生総数 30, 420名 (大学院・学部合計)
- ・今年度入学者数 7, 320名 (大学院・学部合計)
- ・入学志願者数 65, 693名 (全国大学中10番目)

○2011年度 主要私立大学一般入試志願者数一覧 (第1部のみ)

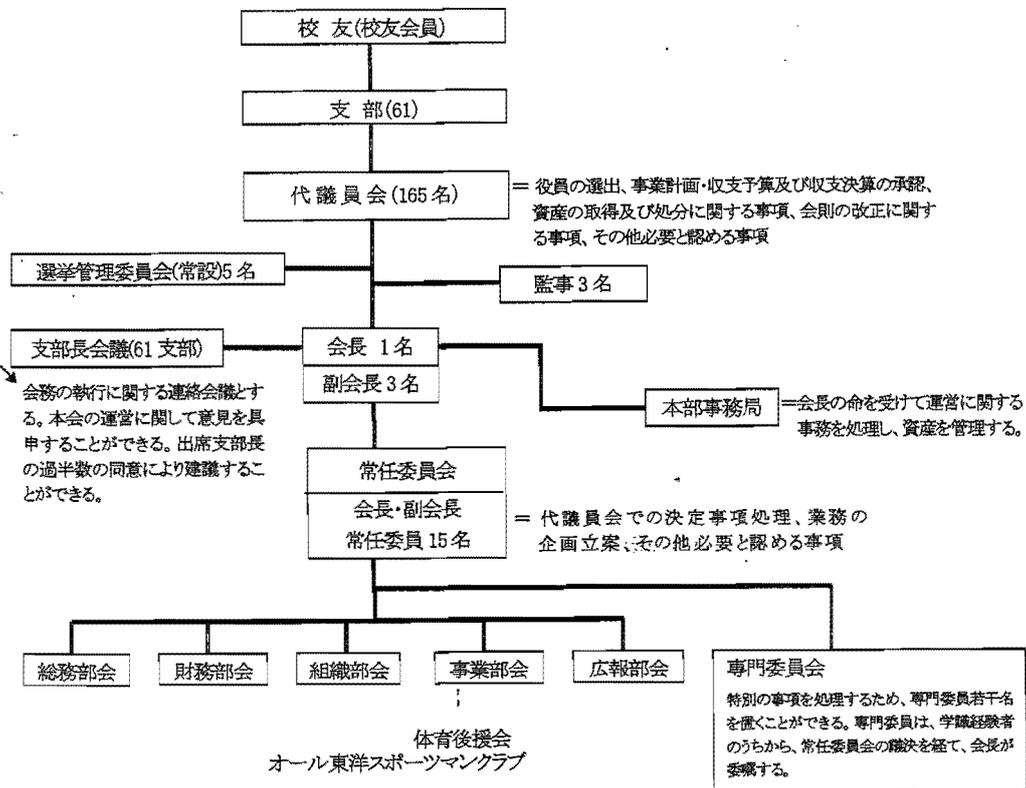
志願者順位	志願者数上位大学	志願者数 (昨年差)
1	明治大学	113, 864 (-1, 836)
2	早稲田大学	113, 653 (-1, 862)
3	法政大学	92, 819 (-1, 717)
4	日本大学	91, 588 (-3, 154)
5	関西大学	86, 463 (-1, 936)
6	中央大学	85, 667 (+3, 769)
7	近畿大学	81, 387 (+4, 643)
8	立命館大学	75, 683 (-2, 061)
9	立教大学	67, 837 (-5, 129)
10	東洋大学	65, 693 (-5, 386)
11	青山学院大学	53, 961 (+736)
12	東京理科大学	50, 287 (+1, 506)
13	同志社大学	48, 486 (+2, 119)
14	慶應義塾大学	46, 693 (-1, 527)
15	関西学院大学	45, 082 (-5, 763)

廣告社「志願者速報」より

3 校友会の現状

- 校友会発足 1894年(明治27年) <今年は、発足117年目>
- ・3年後、2014年(平成26年) 東洋大学 校友会 創立120周年を迎える
- ・今後、準備委員会を設立する

○校友会の組織 (H.23.5.21現在) 一会則準拠一



○校友会員状況

・東洋大学卒業生総数	270,669名	(実数 263,112名)
・現全国校友会員総数(生存者・連絡のできる方)	160,103名	(60.8%)
・平成22年度 校友会費 納入状況		
・年会費納入者	6,026名	
・終身会費納入者	180名	
・終身会費既納入済者	6,092名	
合計	12,298名	(7.7%)

○平成23年度校友会方針

「基本方針」

○東洋大学校友会は、東洋大学を巣立った全27万名校友の拠り所となる組織である。本年創立117年を迎え、全国61支部を拠点として友好団体を加え、会員相互の親睦・交流を図り、大学の興隆・発展に寄与することを目的として活動する。建学の精神を生かす研究、教育上の支援を行うとともに、本会の恒久的な維持発展を期して本年度活動方針を次のように掲げる。

「重点方針」

- (一) 校友の同窓意識を高め、お互いの交流を深め、清新・活発な校友会活動を積極的に展開する。
- (二) 本会の目的を達成するため、本部と支部および支援団体が連携して各種の企画を行い、組織の活性化を進めて財政基盤の安定を図る。
- (三) 母校への支援を行うため、大学・学生の学術研究・文化活動・スポーツ活動を積極的に援助する。

「事業計画概要」

重点方針に基づき、平成23年度事業計画の具現策を次の通り実施する。

(一) については

- 1) 校友大会は、校友が全国から支部を越えて一堂に会し、本部主催で懇親・親睦を主として企画する。5月22日(日)午後1時から、白山校舎5号館井上円了ホール・2号館スカイホールで開催予定であったが東日本大震災の影響を受け、平成23年度は中止とすることとした。
- 2) 支部長会議は、全国支部長会議として11月5日(土)に名古屋において開催する。
- 3) 代議員会は、事業報告、決算、予算、事業方針および校友会にとって重要な問題等について審議する。5月21日(土)午後1時から、白山校舎2号館白山スカイホールで開催する。
- 4) 学徒出陣を中心とする戦没者の名簿調査および平和祈念の日に集う会を継続開催する。
- 5) 校友の特出した社会的活動などに校友会会長賞を授与する。
- 6) 大学125周年を1年後に控えて、記念事業募金への校友の一層の協力を求めるとともに、本部としては寄附金の積立を継続する。

(二) については

- 1) 校友会組織の円滑な活動を図るため、地域に根を張る支部活動の活性化を支援し、関連する諸団体の活動を支援する。
- 2) 各地域支部総会等への女性の参加を拡大し、併せて女性組織の活性化を支援し、全国的な交流の連合化を推進する。
- 3) 学祖井上円了の記念碑(大連)と海外支部(中国支部)の建設に向けて、引き続き調査を行う。
- 4) 本部・支部活動活性化のため、親睦を主とする各種の企画に対し、支援金を充実する。そのため、①支部会報コンテストの実施や②親子三代会員の表彰を行うほか、③支部総会や集いに母校の教育や研究を紹介する場を設けて大学のPRを行う。
- 5) オール東洋スポーツマンクラブと共催し、親善ゴルフ大会や大学駅伝応援などスポーツの振興に寄与する。

6) 校友会報、支部会報、総会案内等に振込用紙を同封送付し、納入意識の喚起に努め会費納入を促進する。校友全員に年1回会報が届くよう所在確認システムを整備する。

7) 情報化を促進するため、校友会報やホームページを通じて情宣活動を行う。支部ブログの増加を図る。

8) 校友会の財政の透明性を確保するため、本部・支部を通じた会計システムを導入する。

9) 長期的な財政安定のため、校友会費のあり方を検討するとともに、基金設定や基本金の拡充に努める。

(三) については

1) 学生個人や団体の特出した活躍に校友会長賞を授与し、その活動を賞賛、奨励する。

2) 校友会学生研究奨励基金による「学生研究奨励賞」「校友会奨学金」を授与する。

3) 校友会寄附講座の継続。大学の教育に資することを意図して、学祖の建学の精神を学ぶ講座を提供する。

4) 学部・大学院・研究所などが主催する学内外に発信する行事に積極的な支援を行う。

5) 体育後援会を通じて、スポーツ活動を支援するための資金援助や方策の提言を行う。

6) 卒業記念品や、体育祭・学園祭、部・サークル活動などに対する支援を通じて学生に校友会のPRを行う。

○活動方針

特に、以下5項目について重点的に取り組んでいきたい。

1 自立を目指す校友会組織の運営強化

少なくとも準会員費徴収に依存する体質の脱却

・会員の増強；会費の増収を如何に達成するか

・住所確認者159, 149人のうち現会費徴収数(約7.7%)12, 298名
目標設定徴収数を約15%24, 000人と定める

・期間 平成23年～平成30年(8年間)

・全国61支部と8ブロックを再分析し、計画案を示す

2 会員の帰属意識の高揚(各支部に要望)

・魅力ある親睦会の企画

・時代に即した講演会の実施と講演者の選出(経費の捻出)

・卒業生で組織する諸団体への支援及び参画推進

例えば オール東洋スポーツマンクラブ 東洋大学プロネット 白山法学校友会
川越キャンパス連合育成会 不動産建設白山会 異業種交流白山会

3 女性校友連絡協議会設立に対する方向性への確率

女性卒業生の比率が40%を超えた現在、校友会は女性の立場、存在を無視できない。積極的に運営に参画していただく気運を作り上げること。また、徹底した帰属意識の高揚に努めるため、校友会はこの協議会に全面的に協力すること。

4 大学のステークホルダーとしての位置づけ

・大学と校友会双方の役目を認識する

・大学と校友会双方のコミュニケーションの確率

・大学と校友会双方の共同作業の発掘(費用対効果)

5 現役学生、卒業生の就職活動支援

・特に卒業後、就職に恵まれない会員の再就職への斡旋と協力が必要である

・卒業生オーナーとのコミュニケーションを充実させて就職活動への情報収集を図り、現役学生への情報提供を行う